

9/28 (木)

関西学院OB社長11人によるトークセッション！ ～アントレプレナー100人創出を目指して～

関西学院大学は、上場企業のトップ9名を含めた本学のOB社長11名を招いて、本学学生や本学卒業の若手起業家などに向けたトークセッションを開催します。

「学生時代にやるべきこと」や「多様なキャリアの考え方」などについて自身の経験を交えて話してもらうことで、新たな事業を起こすアントレプレナーとしての生き方があることや、持続的な成長には起業家精神に基づくイノベーション・新規事業開拓が必要であることを理解してもらい、多様な観点で将来を考えるきっかけ作りの場を提供します。

関西学院大学は、創立150周年(2039年)までに起業家精神(アントレプレナーシップ)に基づいて自ら事業を起こし株式を公開(IPO)する本学出身者を100人輩出することを目指す「IPOアントレプレナー100人創出プロジェクト」を昨秋から始め、プロジェクト開始から1年を迎えました。このトークセッションはそのプログラムの一環として行われます。

※一般参加可、申し込み必要、無料

■日時:9月28日(木)13:00～15:00

■場所:関西学院西宮上ヶ原キャンパス 中央講堂

■申し込み:

関西学院大学研究推進社会連携機構 社会連携センターHP
(<https://www.kwansei.ac.jp/shakairenkei/>)

■登壇者:

岡本 泰彦 ライク株式会社代表取締役社長兼グループCEO
谷村 尚永 株式会社FPG代表取締役社長
真田 哲弥 KLab株式会社代表取締役社長
西江 肇司 株式会社ベクトル代表取締役
山川 真考 JIG-SAW株式会社代表取締役
高谷 康久 イー・ガーディアン株式会社代表取締役社長
岩田 進 株式会社ロックオン代表取締役社長
山根 太郎 株式会社サンワカンパニー代表取締役社長
山本 強 地盤ネットホールディングス株式会社代表取締役
堀 主知 ロバート Oceans株式会社代表取締役
岩井 陽介 アララ株式会社代表取締役
村田 治 関西学院大学学長

■プログラム:

岡本社長がモデレーターとなり、登壇者12名による120分間のトークセッションを行います。起業秘話やIPOを目指したきっかけ、今注目する分野、本学学生に戻れたらどのような学生生活を送るかなどについてお話いただく予定です。

次号 2017年9月29日(金)発行予定

10/28 (土)・29 (日)

感謝の想いを胸に。

CWC熊本が5回目の熊本現地ボランティアへ！

国際協力の研究・事業に関心がある学生であり、且つ国連ユースボランティアや国際社会貢献活動を経験した人達で構成されるCWC(Club of World Citizens、関西学院同窓会の公認団体)。そのCWCが熊本地震を受け、昨年4月に立ち上げた現地ボランティア団体「CWC熊本」が10月28・29日に5回目の現地ボランティアを行います。

CWC熊本の特徴は、渡航費など含めた現地ボランティアに係るすべての費用を様々な財団からの助成金のみで運営しており、これまでに一般財団法人学生サポートセンター、公益財団法人大和証券福祉財団、公益財団法人キリン福祉財団の3団体から助成金を受け現地ボランティアを行っていることです。

また、これまでの熊本県阿蘇郡西原村での農業支援や現地の人の心のケアを目的とした足湯などのコミュニティ活性化支援についても、現地の農家の女性との出会いをきっかけとし、自分たちで考えて活動してきたこともCWC熊本の特徴です。

CWC熊本設立時からのメンバーで、約5カ月間のカンボジアでの国際社会貢献活動を経験後すぐに第1回現地ボランティアに参加し、今回2回目の参加となる増原早紀さん(法学部4年生)は、「帰国してすぐに見つけたこと、それは『熊本のために』という気持ちでした。熊本ではたくさんの温かい人に出会い、そして学ぶことも多かったと感じています。今回は、温かく迎えてくれ、そして多くのことを学ばせてもらった熊本に対し、感謝を伝えるボランティア派遣にしたいと思います」と話しました。



【写真】CWC熊本第1回現地ボランティア(熊本県阿蘇郡西原村)